
月と太陽

寿々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月と太陽

【Zコード】

Z9327A

【作者名】

寿々

【あらすじ】

市丸ギン中心のシリアルス小説。求めるのは色のない世界・・・

・・・。

ぐしゃ。

紅葉を踏む音がする
バリ。

紅葉が割れる音がする

この世界みたいに、割れた紅葉。
一度と形が戻ることはない・・

「なにもかも、無くなつて、消え失せてしまえばええのに・・」

割つた紅葉を、手で掬い取る。

粉々に碎けて、べそをかいしているよつ。

でも、その赤は、健在していた。

市丸、ギンは、もう一度、その紅葉を、ぐしゃりと握りつぶした。
今度こそ、本当にバラバラになつた紅葉は
ギンの足元にはらりと落ちて

他の紅葉にまぎれた。

そこだけが、なぜか明るく映る

気に食わない、気に食わない、気に食わない。

もう一度、そこをぐしゃりと踏み潰した。
残されたのは、足跡と、薄い笑み。

「おーい。お前なにしてんだ」

振り返ると、後ろに藍染と日番谷がいた。
一人とも書類を抱えていた。

日番谷はむくれた顔だが、藍染は笑つている。
だが市丸は知つていて、
その笑顔の裏に

恐怖が隠れている事を
邪悪が隠れている事を
日番谷に對しての
殺意を押し殺している事を。

「別に・・ちょっととした散歩みたいなモンです」
シロなのにアカ、白なのに、赤色に見える。
日番谷冬獅郎。こいつも気に食わない。
今すぐ、殺してやつてもいい。

そう思つ。

「散歩もいいけど、あんま紅葉を踏み潰すなよ。見栄え悪くなるだ
る」

日番谷はぶつきらぼうに言つた。

(こりまた・・強情な口聞く子供やね)

「藍染隊長へ！書類なら私が届けます～っ！」
角を曲がつて走ってきたのは雛森。

「雛森くん。ありがとうございます。でもいいよ、今日くらい僕がやるよ」

「そーですか・・？あ、日番谷くんだー！おはよー！」

「日番谷隊長だ。ついでに今はもう朝じゃないぞ。夕方だ」

ギンはその光景を狐のような目で見ていた。
たわいも無いおしゃべりと

笑い声が

そこを包み込んで

自分一人が

異色。

藍染はそのことを感じさせないし

自分を善人に見せるのが

とてもうまい。

自分はそれが苦手だから
そんなことは出来ない。

2人が去った後、藍染とギンは2人きりになった。

「そこの紅葉を潰したのはキミかい？ギン」

ふいと頭を下げてみると、自分の足元には粉々に砕かれた紅葉が…
無意識に踏んでいたのか、荒い。

「ボク以外に誰があるんですの」

ギンは、長い手を横にぶら下げていつそう目を細めた。

「そう怒らないでくれ」

「怒つてませんよ。ただ、赤が、映ったから…」

藍染は軽く目を開いたが、すぐに意味が分かった、とでも言いたそ
うな顔で
ギンを見た。

「もう少しだよ。朽木ルキアが帰つてくれば我々の計画は実行され
る東仙も準備が出来ている。あとはキミだよ。ギン」

もう少しすれば

赤の無い、黄色の無い、色の無い世界へ
行ける。

黒ばかりの、邪悪ばかりの世界へ。

「はい。藍染隊長・・

夕暮れ時の空に
悪魔が笑つた。

「イヅル。まだ藏ん中に酒残つてるん?」

「残つてますけど・・朽木隊長みたいに仕事もちゃんとしてくださいよ」

酒が喉を通つた頃、唄が聞こえた。

うさぎ

なに見て

跳ねる

十五夜

お月様

見て

跳ねる

「なんや。その唄」

イヅルがか細い声で歌つていた唄。

「知らないんですか。十五夜の唄ですよ」

月が嫌い

太陽も嫌い

鮮やかな色を放つものは全て嫌い

「あ！隊長知つてました？月つて他の光の力を借りて光るんですよ」

「知らんかったわ・・

皆は太陽

我等は月

ほんとの色を

持つていな

「イヅルは、月というより太陽やな」
「市丸隊長は三番隊の太陽ですよ」

ご免な。イヅル
その期待には・・

応えてやれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9327a/>

月と太陽

2010年10月14日21時21分発行